

岐阜県立東濃実業高等学校

学校長 佐野 浩

学校住所 可児市御嵩町伏見891 電話 0574-67-0504

-
- 1 会議の名称 平成30年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|--------|--------------|
| 委員 | 奥村 悟 | 御嵩町わいわい館 館長 |
| | 葛谷 三千代 | 本校PTA役員 |
| | 永田 雅也 | 八百津町役場 園長 |
| | 細野 裕子 | 願興寺修復保存会員 |
| | 松田 明久 | パジェロ製造（株）管理部 |
- （委員は五十音順）
- | | | |
|-----|-------|---------|
| 学校側 | 佐野 浩 | 校長 |
| | 今瀬 浩 | 教頭 |
| | 林 勇二 | 教頭 |
| | 佐藤 知子 | 事務長 |
| | 相川 長徳 | 教務主任 |
| | 渡邊 勝広 | 生徒指導主事 |
| | 渡辺 克人 | 進路指導主事 |
| | 飯田 裕仁 | 商業科主任 |
| | 吉田 香月 | 生活産業科主任 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住人や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年2月1日（金） 15:30～16:55 可児市文化創造センター
委員4人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 学校長挨拶
 - (2) 本年度の学校運営について
 - ① 教頭より
 - ② 教務部より
 - ③ 生徒指導部より
 - ④ 進路指導部より
 - ⑤ 商業科より
 - ⑥ 生活産業科より
 - (4) 意見聴取
 - ・ 学校運営に関すること
 - ・ 教育活動に関すること

- 意見 1
- ・学習成果発表会（以下、発表会）は、企画・アイデアがよく、分かりやすく、的を得たプレゼンになっていた。年々発表のレベルが上がってきており、伸びしろを感じた。プレゼンは、企業でも要点をまとめて発表する方法として重要である。
 - ・生徒指導部の今後の4つの課題については、当り前のことが当り前にできることであるので、粘り強く指導して欲しい。仕事をする際にもルールや手順を守ることは、最終的に例えば怪我をしないことにつながるからである。
- 意見 2
- ・発表会は、本年度、さらにステップアップしているのを感じた。見応えのある発表や地味ではあるがアイデアを出して寸劇を入れるなど工夫されていた。
 - ・地域貢献を目指して新規の事業を授業の中で立ち上げていることが分かった。
 - ・事故には十分気を付けて学校生活を送ってほしい。
- 意見 3
- ・発表会の代表者の挨拶は立派であった。
 - ・御嵩町の中で、すがすがしく、さわやかな挨拶で地元伏見を若い力で盛り上げてほしい。例えば、伏見公民館で毎月行われているイベントに参加させてもらい開発した商品を販売するといった方法もある。
- 意見 4
- ・発表会をまじかに見て3年間の成長を見ることができた。例えば「夢いろ指体操」は実習先などの現場でみて工夫してきた経緯があったので素晴らしい取組であった。県主催の国際化推進事業で取り組んだシンガポール研修の報告が、これで終わりではなく何らかのつながりをもって継続していくとよい。発表会の取組など、ここまでの3年間の学習の記録を残していくとよい。
 - ・社会人になると電話対応は重要なことなので、しっかりと身に付けてほしい。
 - ・卒業して就職をした人が、1年以内で退職した人はどれくらいいるのか。
- 回答 1
- ・離職の調査は、個人情報保護のこともあり本校では実施していない。
- 意見 5
- ・例えば、アンテナショップを伏見宿に立ち上げて、地域の活性化と学校を見てもらう機会とすることができないか。その体験を通じて、会計や起業のこともわかるのではないか。
- 意見 6
- ・コンスタントにショップを開くというのは、なかなか難しいのではないか。現状では、すでにある施設やイベントに参加して販売することで精一杯ではないだろうか。
- 意見 7
- ・いい取組だからやりたいと思うが、働き方改革があり、教員に負荷がかかっているのではないか。すべてやりたいというわけにはいかないもので、企画があれば目的に合った取組のみに絞り込んで、時には切り捨てることも大切ではないか。誰でも健康であってこそだが、負荷がかかると、特に生徒の悩みや相談に対応する時間がなくなるのではないかと心配である。
- 回答 2
- ・アンテナショップのご提案も含めて、業務については **Scrap& Build** を図り精査していかなくはならない。

6 会議のまとめ

- ・本年度の新しい試みで、ポンチ図を分掌、学科等で作成し、Plan・Do・Seeで来年度につなげていく。
- ・情報を発信していくことで、広報活動にも力を入れたい。
- ・貴重なご意見、ご示唆をいただき感謝している。今後の学校運営に活かしていきたい。今後ともよろしくお願ひしたい。